

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第58期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	理想科学工業株式会社
【英訳名】	RISO KAGAKU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 羽山 明
【本店の所在の場所】	東京都港区芝五丁目34番7号
【電話番号】	03(5441)6611
【事務連絡者氏名】	取締役 遠藤 喜八郎
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝五丁目34番7号
【電話番号】	03(5441)6611
【事務連絡者氏名】	取締役 遠藤 喜八郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第2四半期 連結累計期間	第58期 第2四半期 連結累計期間	第57期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(百万円)	37,455	35,944	76,897
経常利益(百万円)	1,956	1,095	4,939
四半期(当期)純利益(百万円)	1,812	1,010	6,288
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	399	192	5,091
純資産額(百万円)	57,404	59,141	62,095
総資産額(百万円)	83,276	82,762	89,854
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	70.83	40.39	247.45
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	68.9	71.5	69.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,126	2,295	6,362
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	116	634	3,006
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,074	2,796	3,622
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(百万円)	17,481	15,402	17,130

回次	第57期 第2四半期 連結会計期間	第58期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	25.87	12.50

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 第57期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社を存続会社とする吸収合併方式でオルテック株式会社は解散しておりますが、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社は、インクジェット事業をより一層効率的に運営していくため、平成23年7月29日開催の取締役会において、当社の完全子会社であるオルテック株式会社（東京都新宿区、資本金490百万円、代表取締役社長 遠藤喜八郎）を吸収合併することを決議いたしました。また、同日付けで両社は合併契約を締結しました。

合併の概要は次のとおりであります。

#### (1)合併期日（効力発生日）

平成23年9月30日

#### (2)合併方式

当社を存続会社とし、オルテック株式会社を消滅会社とする吸収合併方式であります。

#### (3)合併に係る割当の内容

当社はオルテック株式会社の発行済株式の全部を所有しておりますので、本合併による新株式の発行及び金銭等の割当てはありません。

#### (4)消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

#### (5)引継資産・負債の状況

当社は、吸収合併の効力発生日（平成23年9月30日）をもって、吸収合併消滅会社であるオルテック株式会社の全ての資産、負債、権利及び義務を承継いたしました。

#### (6)吸収合併存続会社となる会社の概要

名称 理想科学工業株式会社

資本金 14,114百万円

事業の内容 印刷機器の開発、製造、販売など

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当社グループは、印刷機器事業における新規顧客の獲得による健全な成長を重点課題に掲げ収益力の改善に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、印刷機器事業では国内の売上は堅調に推移しましたが、海外で販売が苦戦し為替の影響も受けたため売上は前年を下回りました。利益面では、当期からインクジェット事業を当社独自運営としたことにより売上原価は低減しましたが、のれん償却費の発生や研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加しました。これらの結果、売上高は359億4千4百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は12億7千6百万円（同31.0%減）、経常利益は10億9千5百万円（同44.0%減）、四半期純利益は10億1千万円（同44.2%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、米ドル79.82円（前年同期比9.13円の円高）、ユーロ113.79円（同0.06円の円高）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### 印刷機器事業

当社グループは、印刷機器事業として、高速カラープリンター「オルフィス」を主としたインクジェット事業とデジタル印刷機「リソグラフ」を主とした孔版事業を行っております。インクジェット事業は、米州では苦戦しましたが、日本は好調に伸び欧州も堅調に推移しました。孔版事業の売上は全地域において前年を下回りました。この結果、印刷機器事業の売上高は為替の影響もあり351億6千8百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は10億4千2百万円（同32.4%減）となりました。

#### 日本

孔版事業の売上は減少しましたが、インクジェット事業の売上が好調に推移しました。売上高は222億5千4百万円（同1.1%増）となりました。インクジェット事業における「オルフィス」の販売増と売上原価の低減により営業利益は17億7千1百万円（同14.1%増）となりました。

#### 米州

インクジェット事業、孔版事業ともに売上が減少し売上総利益が減少しましたが、事業構造改革による販売費及

び一般管理費の減少で営業損益は改善しました。売上高は為替の影響もあり27億5千8百万円（同25.8%減）となり、営業損失は5億4千7百万円（前年同期は7億4千7百万円の営業損失）となりました。

#### 欧州

インクジェット事業は堅調に推移しましたが、孔版事業の売上は前年を下回りました。売上高は59億2千7百万円（前年同期比7.4%減）、営業損失は4億3千9百万円（前年同期は1億4千6百万円の営業利益）となりました。

#### アジア

売上高は為替の影響を受けたことにより42億2千8百万円（前年同期比6.1%減）となりました。営業利益は2億5千7百万円（同56.3%減）となりました。

#### 不動産その他事業

当社グループは、不動産その他事業として表参道ビル・新大阪ビルの賃貸を中心とした不動産事業のほかプリントサービス業などを中心としたプリントクリエイティブ事業を行っております。

不動産その他事業の売上高は7億7千5百万円（同5.3%減）、営業利益は2億3千3百万円（同23.8%減）となりました。

### (2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

総資産は70億9千2百万円減少し827億6千2百万円となりました。また純資産は29億5千4百万円減少し591億4千1百万円となりました。この結果自己資本比率は2.4ポイント改善し71.5%となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金が29億1千8百万円、受取手形及び売掛金が24億9千6百万円、商品及び製品が18億1千1百万円それぞれ減少しました。また負債の部では、支払手形及び買掛金が29億1千9百万円、短期借入金金が1億8千3百万円、未払法人税等が2億6千9百万円それぞれ減少しました。

### (3)キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果獲得した資金は22億9千5百万円（前年同期比26.6%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益14億3千3百万円、減価償却費11億3千5百万円、売上債権の減少額17億5千4百万円、たな卸資産の減少額6億3千7百万円、仕入債務の減少額24億2千7百万円によるものです。

投資活動の結果支出した資金は6億3千4百万円（前年同期は1億1千6百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出6億9千1百万円、有形固定資産の取得による支出4億2千9百万円、無形固定資産の取得による支出4億8千4百万円、定期預金の払戻による収入9億2百万円によるものです。

財務活動の結果支出した資金は27億9千6百万円（前年同期比9.0%減）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出14億9千9百万円、配当金の支払額12億6千2百万円によるものです。

### (4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。また、新たに生じた課題もありません。

### (5)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、24億9千3百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	67,840,000
計	67,840,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	25,703,166	25,703,166	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	25,703,166	25,703,166	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	25,703,166	-	14,114	-	14,779

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社理想社	東京都世田谷区若林3丁目29-8	2,470	9.61
理想科学工業株式会社	東京都港区芝5丁目34-7	1,546	6.02
公益財団法人理想教育財団	東京都港区新橋2丁目20-15	1,330	5.18
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブ アカウント アメリカン クライアント (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	1,300	5.06
羽山 昇	東京都世田谷区	1,155	4.50
羽山 明	東京都目黒区	1,040	4.05
理想科学工業従業員持株会	東京都港区芝5丁目34-7	996	3.88
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	941	3.66
羽山 治	東京都目黒区	840	3.27
羽山 尚	東京都世田谷区	840	3.27
伊藤 真理子	東京都世田谷区	840	3.27
計	-	13,303	51.76

(注) シルチェスター・パートナーズ・リミテッド(旧名称:シルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・リミテッド)及びその共同保有者であるシルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルピーから平成22年11月8日付の大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、平成22年11月1日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿と相違しており、当社として実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
シルチェスター・ パートナーズ・リミテッド	英国ロンドン ダブリュー1ジェイ 6ティ ーエル、ブルトン ストリート1、タイム アンド ライフ ビル5階	0	0.00
シルチェスター・ インターナショナル・ インベスターズ・エルエルピー	英国ロンドン ダブリュー1ジェイ 6ティ ーエル、ブルトン ストリート1、タイム アンド ライフ ビル5階	3,067	11.94

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,546,600	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,150,300	241,503	同上
単元未満株式	普通株式 6,266	-	-
発行済株式総数	25,703,166	-	-
総株主の議決権	-	241,503	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,400株(議決権の数14個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
理想科学工業株式会社	東京都港区芝五丁目 34番7号	1,546,600	-	1,546,600	6.02
計	-	1,546,600	-	1,546,600	6.02

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	海外営業本部長 兼プリントクリエイト 事業部担当	常務取締役	海外営業本部長 兼米州営業部長 兼プリントクリエイト 事業部担当	高橋 靖宏	平成23年9月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	13,780	10,862
受取手形及び売掛金	13,881	11,385
有価証券	4,096	5,213
商品及び製品	11,287	9,476
仕掛品	416	473
原材料及び貯蔵品	1,230	1,646
繰延税金資産	2,495	2,351
その他	2,561	1,956
貸倒引当金	485	433
流動資産合計	49,263	42,933
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	17,900	17,948
減価償却累計額	11,530	11,647
建物及び構築物(純額)	6,369	6,300
機械装置及び運搬具	7,170	6,963
減価償却累計額	6,232	6,125
機械装置及び運搬具(純額)	937	837
工具、器具及び備品	15,189	14,839
減価償却累計額	14,486	14,230
工具、器具及び備品(純額)	702	608
土地	17,139	17,139
リース資産	344	317
減価償却累計額	212	170
リース資産(純額)	132	147
建設仮勘定	83	249
その他	11,911	11,422
減価償却累計額	8,835	8,517
その他(純額)	3,076	2,905
有形固定資産合計	28,442	28,188
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,633	2,304
ソフトウェア	1,552	1,432
その他	3,129	3,181
無形固定資産合計	7,315	6,917
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,572	1,473
長期貸付金	123	256
その他	3,265	3,099
貸倒引当金	126	105
投資その他の資産合計	4,833	4,723
固定資産合計	40,591	39,829
資産合計	89,854	82,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,366	9,446
短期借入金	2,160	1,977
1年内返済予定の長期借入金	3	3
未払法人税等	720	451
賞与引当金	1,550	1,585
役員賞与引当金	60	35
製品保証引当金	136	105
その他	5,268	4,699
流動負債合計	22,267	18,305
固定負債		
長期借入金	53	51
繰延税金負債	767	720
退職給付引当金	3,597	3,654
訴訟損失引当金	65	53
その他	1,008	836
固定負債合計	5,492	5,316
負債合計	27,759	23,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	36,249	35,998
自己株式	511	2,011
株主資本合計	64,633	62,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	110
為替換算調整勘定	2,516	3,630
その他の包括利益累計額合計	2,538	3,740
純資産合計	62,095	59,141
負債純資産合計	89,854	82,762

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	37,455	35,944
売上原価	18,902	16,623
売上総利益	18,553	19,320
販売費及び一般管理費	16,704	18,043
営業利益	1,848	1,276
営業外収益		
受取利息	102	82
受取配当金	27	22
持分法による投資利益	147	-
その他	186	195
営業外収益合計	464	300
営業外費用		
支払利息	41	25
為替差損	222	377
その他	92	78
営業外費用合計	356	481
経常利益	1,956	1,095
特別利益		
顧客権譲渡益	-	228
事業譲渡益	-	110
特別利益合計	-	338
税金等調整前四半期純利益	1,956	1,433
法人税等	143	423
少数株主損益調整前四半期純利益	1,812	1,010
四半期純利益	1,812	1,010

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,812	1,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	358	88
為替換算調整勘定	1,054	1,113
その他の包括利益合計	1,413	1,202
四半期包括利益	399	192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399	192
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,956	1,433
減価償却費	1,247	1,135
のれん償却額	-	329
持分法による投資損益(は益)	147	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	38	56
貸倒引当金の増減額(は減少)	42	17
受取利息及び受取配当金	130	104
支払利息	41	25
為替差損益(は益)	153	85
事業譲渡損益(は益)	-	110
売上債権の増減額(は増加)	1,932	1,754
たな卸資産の増減額(は増加)	34	637
仕入債務の増減額(は減少)	808	2,427
未払金の増減額(は減少)	509	269
その他	513	230
小計	3,338	2,759
利息及び配当金の受取額	126	103
利息の支払額	37	26
法人税等の支払額	320	568
法人税等の還付額	18	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,126	2,295
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	597	691
定期預金の払戻による収入	840	902
有形固定資産の取得による支出	395	429
有形固定資産の売却による収入	6	10
無形固定資産の取得による支出	533	484
貸付けによる支出	0	23
貸付金の回収による収入	26	4
事業譲渡による収入	-	110
その他	770	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	116	634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,746	9
長期借入金の返済による支出	13	1
自己株式の取得による支出	499	1,499
配当金の支払額	771	1,262
その他	43	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,074	2,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	597	592
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	429	1,727
現金及び現金同等物の期首残高	17,910	17,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,481	15,402

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 当第2四半期連結会計期間において、オルテック株式会社は当社と合併したことにより、連結の範囲から除外しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 給料手当及び賞与 4,725百万円 減価償却費 639 〃 退職給付費用 430 〃 賞与引当金繰入額 1,323 〃 研究開発費 1,931 〃 貸倒引当金繰入額 75 〃	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 給料手当及び賞与 4,927百万円 減価償却費 704 〃 のれん償却費 329 〃 退職給付費用 465 〃 賞与引当金繰入額 1,327 〃 研究開発費 2,493 〃

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) (百万円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) (百万円)
現金及び預金勘定 11,914 預入期間が3か月を超える定期預金 425 取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資(有価証券勘定) 5,992 現金及び現金同等物 17,481	現金及び預金勘定 10,862 預入期間が3か月を超える定期預金 574 取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資(有価証券勘定) 5,114 現金及び現金同等物 15,402

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	770	30	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成22年8月16日付で、自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において利益剰余金が1,375百万円、自己株式が1,375百万円減少しております。

また、当第2四半期連結会計期間において自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において自己株式が499百万円増加しております。

これらの要因により、当第2四半期連結会計期間において利益剰余金が1,375百万円、自己株式が875百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が31,774百万円、自己株式が510百万円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,261	50	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、当第2四半期連結累計期間において自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,500百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,011百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	印刷機器事業					不動産 その他 事業	合計
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高	22,019	3,717	6,397	4,502	36,636	818	37,455
セグメント利益又は損失( )	1,552	747	146	589	1,541	306	1,848

(注) 1. 不動産その他事業には、不動産事業、プリントクリエイト事業及び保険代理業が含まれております。

2. 印刷機器事業の各セグメントに属する主な国又は地域

- (1) 米州 ..... 米国、カナダ
- (2) 欧州 ..... ドイツ、イギリス、フランス
- (3) アジア ..... 中国、タイ、韓国、インド

3. セグメント利益又は損失( )の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	印刷機器事業					不動産 その他 事業	合計
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高	22,254	2,758	5,927	4,228	35,168	775	35,944
セグメント利益又は損失( )	1,771	547	439	257	1,042	233	1,276

(注) 1. 不動産その他事業には、不動産事業及びプリントクリエイト事業が含まれております。

2. 印刷機器事業の各セグメントに属する主な国又は地域

- (1) 米州 ..... 米国、カナダ
- (2) 欧州 ..... ドイツ、イギリス、フランス
- (3) アジア ..... 中国、タイ、韓国、インド

3. セグメント利益又は損失( )の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。



(金融商品関係)

前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	70円83銭	40円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,812	1,010
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,812	1,010
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,585	25,019

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

理想科学工業株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩崎 雅樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川瀬 洋人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている理想科学工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、理想科学工業株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。